

珍しい交響曲 ブラジル Minor Symphonies Brazil

作曲者		生没年	交響曲の数	曲名	評価 ★★★★★:ぜひ聞いて欲しい ☆☆☆☆:聞く価値はある ※※:どちらとも言えない ×:聞く価値なし	コメント	○の曲のスコアは保有しています。	CD番号	レベル
Heitor Villa-lobos	ヴィラ=ロボス	1887-1959	12	交響曲第8番(1950)	☆☆☆☆	4楽章で24分。欧米の音楽とは違った感じを味わうことができます。ブラジル風バッハのようなブラジル感はありません。第1楽章の第1主題はシーベルトの第8番(グレート)の主題のパロディー?		8573777	Naxos
				交響曲第9番(1952)	☆☆☆☆	4楽章で22分。全体の印象は第8番と同じ。			
				交響曲第11番(1955)	☆☆☆☆	4楽章で28分。8, 9番よりは複雑な感じがします。			
Lorenzo Fernandez	フェルナンデス	1897-1948	2	交響曲第1番(1945)	※※	4楽章で32分。ブラジル風味は無く、当時のヨーロッパ音楽風。		8574412	Naxos
				交響曲第2番(1947) エメラルド・ハンター 17世紀のエメラルド探しを描いた詩に基づきます。	※※	4楽章で36分。詩の内容に沿っているので交響詩のような感じで聴けます。最後はジャングルの中での死です。		8574412	Naxos